

I 平成31年度事業計画書

戦後開拓事業により中山間地域等の劣悪な土地に入植した開拓者は、山林原野等を手作業などで開墾し、農業経営を積極的に推進することで、国民への安全・安心な食料供給の一翼を担ってきました。この開拓営農は、二世、三世に引き継がれ、積極的に展開されています。

我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかに回復しています。ただし、アメリカと中国との通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性、金融資本市場の変動などにより、我が国経済への大きな影響が懸念されます。

最近の農畜産業を取り巻く情勢は、酪農家・和牛繁殖農家の減少が続く中で、初妊牛・肥育素牛価格は依然として高水準で推移しており、生産資材価格・配合飼料価格と同様高止まりしているなどにより、経営は厳しい状況にあります。

また、環太平洋連携協定（TPP11）については、昨年12月30日に、日欧経済連携協定（EPA）については、本年2月1日にそれぞれ発効し、農畜産物の関税の廃止や大幅な削減となり、生産農家の農業所得が大幅に減少するなど経営への大きな影響が見込まれます。

さらに、本年春頃から日本とアメリカとの物品貿易協定（TAG）について、協議が開始することとされており、アメリカ側は関税以外にもサービスや非関税障壁など幅広い分野の事項をも要求し、内容もTPP11より踏み込んだ要求となることが見込まれ、今後の交渉状況如何により日本農業への深刻な影響が懸念されます。

このような中であって、中山間地域など厳しい立地条件の下で畜産・酪農、高冷地野菜、果樹等の分野で意欲的に取り組んでいる開拓農家をはじめとする農業者への支援策が必要であり、開拓営農の持続的発展により国民・消費者に安全・安心な食料供給を図ることが、重要な課題となっています。

当協会においては、これまでの事業実施状況及び成果を考慮し、運営の簡素化・合理化を徹底する一方、開拓営農振興事業については、3カ年事業の最終年である開拓畜産・酪農生産基盤強化事業の予算を大幅に確保し、事業を着実に実施する計画を立て、開拓農家の持続的発展に資するよう取り組みます。

また、当協会の開拓者支援事業をはじめとする事業を円滑に実施し、所期の目的を達成するためには、会員及び関係機関、団体の協力の下に取り進めていく必要があります。本年度も関係団体との一層緊密な連携をとりながら事業を展開します。

以上の趣旨により、本年度の事業計画を次のとおり定めます。

○ 開拓者支援事業（公益目的事業（公1））

開拓者支援事業は、開拓者の営農の振興を図り、国民への食料供給を推進するため、開拓者の営農支援をすることを目的とした事業で、研修事業、開拓情報事業、開拓営農振興事業及び調査・研究事業により構成しています。

1 研修事業

研修事業は、開拓者及び開拓後継者の資質の向上・研鑽と、相互交流を図ることにより、農業経営の発展及び開拓営農を一層推進し、国民生活に不可欠な食料を安定的に供給するため、次により研修事業を実施します。

(1) 講演会

開拓営農に取り組んでいる開拓者や開拓者以外の農家などの資質の向上や営農の推進を図るため、会員が所在する都道府県において実施します。

また、講演会の開催概要をホームページ（HP）に掲載するとともに、参加者の募集をHP、開拓情報等で行います。

開催場所：岩手県 開催時期：平成31年11月初旬（予定）

(2) 海外研修

EUや環太平洋諸国等とのEPA・FTA交渉が妥結する状況の下、牛肉の輸出の動きなど海外との関わりが多くなっていることから、開拓後継者、開拓組織の担当者等が海外の実態等を見聞することにより国際感覚の涵養と農業経営の向上に資するため海外研修を実施します。

また、海外研修の開催概要をHPに掲載するとともに、参加者の募集をHP、開拓情報等で行います。

研修国：ヨーロッパ地域から選定

実施時期：平成31年9月下旬（予定）

(3) 全国開拓青年・女性研修会

我が国農業・開拓営農の担い手である開拓後継者として全国で開拓営農に取り組んでいる青年・女性の資質向上と相互の連携強化を図るため、全国開拓青年・女性研修会を全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会との共催により実施します。

なお、参加者の募集は、会員及び開拓情報を通じて行います。

開催場所：青森県 開催時期：平成31年10月中旬（予定）

(4) 全国開拓代表者大会

3年に一度の開催のため今年度は開催の予定はありません。

2 開拓情報事業

開拓農家及び開拓組織の相互の連携維持・強化を進めるとともに、開拓営農のより一層の振興のため、全日本開拓者連盟、全国開拓農業協同組合連合会との共同編集により「開拓情報」を毎月、定期的に発行し、購読を希望する者に無償で提供するとともに、HPに掲載します。

発行に当たっては、国際情勢、農政の動き、農畜産の技術及び経営に関する情報の提供、優れた開拓農家、開拓地の紹介及び中央・地方の組織の活動状況の紹介等幅広い情報の提供をするなど紙面の充実に努めます。

3 開拓営農振興事業

開拓者の農業経営の発展と開拓営農の一層の推進及び国民生活に不可欠な食料の安定供給のためには、開拓営農に取り組んでいる開拓者の農業経営の持続的発展・強化を図る必要があることから、次により開拓営農振興事業を実施します。

(1) 開拓関係諸行事

会員が当協会の示す開拓関係諸行事事業から選定して実施する開拓営農支援対策及び開拓営農推進対策に助成します。

(2) ブロック開拓関係諸行事

ブロック協議会が当協会の示すブロック開拓関係諸行事事業から選定して実施する研修会事業及び先進地視察事業等に助成します。

(3) 表彰

開拓者が参加する共進会、品評会等において優秀な成績を収めた者に対して、開催者の申請により当協会の会長の表彰状のほか副賞を贈呈します。

(4) 開拓畜産・酪農生産基盤強化

畜産・酪農経営を行う開拓者が、生産基盤の維持・拡大を図るため、家畜等を生産・導入する場合に、これらの費用に対し助成します。

4 調査・研究事業

戦後開拓について多くの人に理解してもらうため、次により資料の収集・整理を行い情報の提供をするとともに、開拓農家の概要を発行します。

(1) 戦後開拓に関する資料の一般公開

戦後の幾多の苦難を克服し、輝かしい成果を上げるに至った開拓農家及び開拓組織の歩みに関する刊行物や資料を収集、整理・保管し、戦後開拓・開拓営農の理解を深める情報として一般に公開します。

また、今年度も会員の協力を得て、開拓の歴史、開拓の精神を記録する開拓記念碑の調査を行います。

(2) 開拓農家の概要の発行

原則として5年に一度の事業であるため今年度は実施の予定はありません。

参考－事業体系図

